

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】令和 1 年 10 月 10 日 (2019.10.10)

【公開番号】特開 2017-190117 (P2017-190117A)

【公開日】平成 29 年 10 月 19 日 (2017.10.19)

【年通号数】公開・登録公報 2017-040

【出願番号】特願 2016-185133 (P2016-185133)

【国際特許分類】

B 6 0 K 7/00 (2006.01)

B 6 0 G 3/28 (2006.01)

【F I】

B 6 0 K 7/00

B 6 0 G 3/28

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 8 月 29 日 (2019.8.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 2】

【図 1】本発明の第 1 実施形態になるインホイールモータ動力線の配線構造を示す模式図であり、車幅方向内側からみた状態を表す。

【図 2】第 1 実施形態を示す模式図であり、車両前方からみた状態を表す。

【図 3】第 1 実施形態を示す模式図であり、車両上方からみた状態を表す。

【図 4】インホイールモータ駆動装置を示す模式図であり、車幅方向外側からみた状態を表す。

【図 5】インホイールモータ駆動装置を示す横断面図である。

【図 6】インホイールモータ駆動装置を示す展開断面図である。

【図 7】インホイールモータ駆動装置およびサスペンション装置を模式的に示す縦断面図である。

【図 8】インホイールモータ駆動装置および動力線を示す模式図であり、車両後方からみた状態を表す。

【図 9】インホイールモータ駆動装置および動力線を示す模式図であり、車両上方から回転軸線方向にみた状態を表す。

【図 10】インホイールモータ駆動装置から動力線およびスリーブを取り出して示す模式図であり、上方から回転軸線方向にみた状態を表す。

【図 11】インホイールモータ駆動装置から動力線およびスリーブを取り出して示す模式図であり、車幅方向にみた状態を表す。

【図 12】本発明の第 2 実施形態になるインホイールモータ動力線の配線構造を示す模式図であり、車幅方向内側からみた状態を表す。

【図 13】第 2 実施形態を示す模式図であり、車両前方からみた状態を表す。

【図 14】第 2 実施形態を示す模式図であり、車両上方からみた状態を表す。

【図 15】本発明の第 3 実施形態になるインホイールモータ動力線の配線構造を示す模式図であり、車両前方からみた状態を表す。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 8 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 8 9 】

次に本発明の第 3 実施形態を説明する。図 1 5 は本発明の第 3 実施形態になるインホイールモータ動力線の配線構造を示す模式図であり、車両前方からみた状態を表す。この第 3 実施形態につき、前述した実施形態と共通する構成については同一の符号を付して説明を省略し、異なる構成について以下に説明する。第 3 実施形態では、各動力線 9 3 の一端がインホイールモータ駆動装置 1 0 の動力線接続部 9 1 と接続し、各動力線 9 3 の他端が車体 1 0 1 まで延びる。各動力線 9 3 の一端から他端までの間には、インホイールモータ駆動装置側領域 9 3 h、中間領域 9 3 i、車体側領域 9 3 j がこの順序で連なっている。